

都道府県魅力度 茨城 8年ぶり最下位脱出

河北新報で自習しよう！

東北は宮城13位（昨年14位）、青森14位（20位）、秋田20位（21位）、福島33位（25位）、岩手35位（30位）、山形39位（27位）だった。茨城は18年、情報発信を強化するため「プロモーション戦略チーム」を設置。若者向けに動画投稿サイト「ユーチューブ」で動画配信するなど、県産品のブランド化や観光誘致を推進した。現在のチームリーダーの谷越敦子さんは「（ランキングは）影響力が大きいので気になっていた。県の認知度が上がってきた」と手応えを語った。

大井川和彦知事は「順位が上がったことは喜ばしいが、本県の魅力はもともと上位であつても良い」と苦笑した。一方、最下位となつた栃木の福田宣一知事は「来年こそは同じ結果にならないよう取り組みたい。栃木の魅力を測るための適切な指標なのか疑問を感じ」と指摘した。

（10月16日朝刊記事を加工）

民間シンクタンク「ブランド総合研究所」（東京）は、2020年の都道府県別魅力度ランキング調査で、1位は12年連続で北海道だったと発表した。2位は京都、3位は沖縄と続いた。7年連続最下位だった茨城は42位で、8年ぶりに最下位を脱出した。

都道府県	市区町村
1 (1) 北海道	1 (3) 京都市
2 (2) 京都	2 (1) 北海道函館市
3 (4) 沖縄	(2) 札幌市
4 (3) 東京	4 (6) 横浜市
5 (5) 神奈川	5 (4) 北海道小樽市
6 (6) 大阪	6 (5) 神戸市
7 (7) 奈良	7 (7) 神奈川県鎌倉市
8 (10) 長野	8 (8) 金沢市
9 (8) 福岡	9 (9) 北海道富良野市
10 (9) 石川	10 (10) 仙台市

※（ ）内は昨年順位

問題

①右の表に東北各県の本年度の魅力度順位を書きましょう。

②魅力度1位の都道府県はどこでしょう。

③最下位を脱出した茨城県は、どんな取り組みをしたでしょう。記事から探してみましょう。

④自分の住む県や市町村の魅力を考えてみましょう。

東北各県の魅力度ランキング

県	順位
青森	
岩手	
宮城	
秋田	
山形	
福島	



出題者から

小学校から社会科で「身近な地域」について学びますが、あなたが暮らす市町

村など地域の魅力は何でしょう。「住めば都」ということわざがある通り、地元は魅力あふれる所ですよ。都道府県や市町村を新

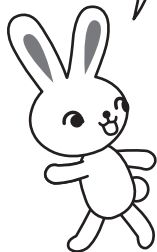
たな視点で見直し、さまざまな魅力に気づいてほしいと思います。（仙台市長町中教諭 進藤千枝）

答えは11月1日の朝刊に



（小学校中学年以上／朝の会など）

31日の
答えだよ



①次の表に東北各県の本
年度の魅^{めい}力^{りき}度^ど順^{じゆん}位^いを書^かき
ましよう。

②魅^{めい}力^{りき}度^ど1位の都^と道^{どう}府^ふ県^{けん}
はどこでしょう。

(北^{ほく}海^{かい}道^{どう})

③最^{さい}下^か位^いを脱^{だつ}出^{しゆつ}した茨^{いばら}城^き
県^{けん}は、どん^とな取^くり組^くみ^きを
したでしよう。記^き事^じから
探^{さが}してみましよう。

(情^{じよう}報^{ほう}発^{はつ}信^{しん}を強^{きやう}化^かするた^とめ「プ^ぷロ^ろモ^もーシ^しョ^ョン戦^{せん}略^{りやく}チ^ちー^ーム」を設^{せつ}置^ち。若^わ者^か向^むけに動^{どう}画^が投^{とう}稿^{こう}サ^さイ^いト「ユ^ゆー^ーチ^ちュー^ーブ」で動^{どう}画^が配^{はい}信^{しん}するな^など、県^{けん}産^{さん}品^{ぴん}のブ^ぶラ^らン^んド^ど化^かや観^{かん}光^{こう}
誘^{ゆう}致^ちを推^{すい}進^{しん}した)

④自^じ分^{ぶん}の住^すむ県^{けん}や市^し町^{ちょう}村^{そん}の魅^{めい}力^{りき}を考^{かんが}えてみましよう。
(解^{かい}答^{とう}例^{れい} 豊^{ゆた}かな自^し然^{ぜん}が有^ある、お^おい^いし^いい食^たべ^な物^{もの}が有^ある、
魅^{めい}力^{りき}的^{てき}な観^{かん}光^{こう}ス^すポ^とッ^とトが有^ある、人^{ひと}が優^{やさ}しいな^など)

東北各県の
魅^{めい}力^{りき}度^どラン^んキン^ぐグ



県	順位
青森	14
岩手	35
宮城	13
秋田	20
山形	39
福島	33